

社会福祉法人健祥会

○自主宣言すると決めた経緯

- ・健祥会グループの理念「福祉は人 人は心」「心と心」の具現化が消費者志向自主宣言への取り組みと同じであった。
- ・社会福祉法改正により社会福祉法人健祥会が「特定社会福祉法人」へ
ガバナンスと財務規律の厳格化、組織の透明性、地域貢献への取り組みを自主宣言に盛り込むことで、特定社会福祉法人としての責務を果たす。
【健祥会グループ総合案内パンフレット】参照

○自主宣言をすることの事業者側のメリット等をどう考えたか

- ・社会福祉法人健祥会が行っている事業、様々な取り組みに対する PR 効果
- ・唯一、社会福祉法人として自主宣言をすることの意義と貴重な機会

○自主宣言への取り組み

理念：「福祉は人 人は心」「心と心」

コーポレートメッセージ：「明日を想う」

行動指針：「サービスの質の追求」「職場での共創」「地域社会への貢献」

経営トップのコミットメント

- ・女性が働きやすい職場づくり：「えるぼし」制度で最高位三つ星認定
【健祥会だより 2018 (P.8)】参照
- ・女性の活躍推進「女性活躍パワーアップ大賞」：優秀賞受賞
【HP 資料】参照
- ・仕事と子育て両立支援、子育て中の職員が働きやすい職場環境づくり
とくしま子育て大賞「とくしま子育てサポート賞」受賞
【HP 資料】参照

コーポレートガバナンスの確保

- ・会計監査人による監査
運営の透明性確保、適正な支出管理、ガバナンス強化、財務規律の確立
- ・法人内部独立機関「監査室」の設置
全ての施設に指導監査実施（法令順守、適正・適切なサービス提供の点検）

職員の積極的活動（企業風土や職員の意識の熟成）

- ・「認知症サポーター」の養成 1万人の目標達成
【HP 資料】参照
- ・「0歳から100歳 over ファッションショー」開催
【健祥会だより 2018 (P.14)】参照
- ・「年間取組発表会」開催 サービスの高品質化と職員のやりがいにつなげる取り組み
【HP 資料・健祥会だより 2018 (P.10)】参照

事業関連部門と品消法関連部門の有機的な連携

- ・「ニーズ調査」の実施
潜在的なニーズやサービスに対する評価を把握し、より良いサービスの提供へ
<昨年度の結果>
ご利用者・ご家族 総数 6,678名へアンケート実施
4,216名より回答（回収率 63.1%） 高回収率
- ・施設内事故やサービスに対する苦情発生時の対応、再発防止への取り組み
事故防止・苦情解決のための委員会を開催
発生の要因分析、対応策・改善策の検討、対策実施後の評価を実施

消費者への情報提供の充実・双方向の情報交換

- ・「介護の日」11月11日（いいひ いいひ）に合わせて催し物を企画・運営
- ・健祥会グループホームページの随時の更新
- ・広報誌「健祥会だより」創設当初（昭和56年）より毎年発行
「だよりコンテスト」「フォトコンテスト」で技術の向上
【健祥会だより 2018 (P.18)】参照
- ・「介護・医療・保育相談センター by KENSHOKAI」オープン
【健祥会だより 2018 (P.5、P.13)】参照